

# 林業福島

No. **688**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



**12** 2021



監 修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ パワー & パワー



# キャンプ・ブームに想う

公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団  
理事長 菊池 壯 藏

先のラグビー・ワールドカップの際にわかファンが一気に拡大した現象がありました。これに似て、いまキャンプにもブームが到来しているようで、にわかキャンパー人口の急激な拡大が見られるようです。コンビニや書店のコーナーにはキャンプ関連の野外飯からキャンプ道具紹介に至る雑誌が多く並ぶようになっていきます。ただ、これらもよく観察していると、サバイバル派からグランピング派に至るまで中身は千差万別なのがわかります。水の確保や火起こしから始めるキャンプもあれば、ガス水道や電源までが整備されていて、レンジですら使用可能なキャンプ場もあり、さらにはサービス付きの「キャンプ」まであるわけです。「アウトドア」活動も様々です。

「鉄道ファン」にも「乗りテツ」「撮りテツ」から究極の「スジテツ」に至るまで数多くの種類があるようなものなかもしれません。ただ、にわかファン層が一気に増えたため、従来ファン層の中で受け継がれ、常識とされて来た規範が崩れる傾向も出てきています。全国のキャンプ場では、これまで考えられなかった「マナー違反」（とりわけ撤収時の後始末）に頭を悩ませているとも聞きます。残念な事です。

いったいキャンプの何が人々を引き付けているのでしょうか。キャンプとは、元々は経過的な野営(地)・駐屯(地)を指す言葉だったことを思うと、一定の不自りさや不便さは当然でした。そもそも恒常的な、定住した生活の場そのものではありません。震災や風水害、さらには昨今のコロナ禍のようなステイ・ホームを強いられた「非日常性」や不自りさに対応する防災意識とどこかで繋がっているのかもしれない。

ただ、その「不便さ」にもかかわらず、あえてそれを楽しむ人々も確かに増えてはいるようです。わがフォレスト・パークでも最近、天気予報が雪だという理由で、キャンプサイトへの予約電話が来たりする事もあって、スタッフも驚いたりしています。

歴史を遡ると、民芸運動やクラフト、手仕事などへの再評価は、世の中の機械文明が進んだ地域・時代にあって登場しています。どの分野でも「ロマン派」は「古典派」の後に生まれていることを考えると、このキャンプ・ブームの一端には、もしかしたら、利便性をとことん追求する現代社会への反動が含まれているのかもしれない。

それにしても、近代的テクノロジーで製作されたキャンプ・ギアをふんだんに使って快適なキャンプを楽しむ人々も多いわけです。ただ、アウトドアでの活動が結果としての「自然汚損」につながることを願うのみ。雑誌などのキャンプ特集記事に、SDGsとからめて「後始末」のことを解説していただけたらなあ、などと思っているところです。

## 《も く じ》

とびら	第24回福島県森林組合連合会良質材展示会… 6
キャンプ・ブームに想う	福島県優良建設工事表彰について…………… 7
公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団	普及指導員通信…………… 8
理事長 菊池 壯 藏…………… 1	緑の百景歩こう会を開催しました…………… 9
第4回ふくしま植樹祭を開催…………… 2	福島高度集成材製造センターについて…………… 9
第46回福島県林業祭を開催しました!!… 3～4	森連だより…………… 10
令和3年度福島県林業コンクール…………… 5	木の文化を育む <sup>33</sup> …………… 11
第18回ふくしま森林・林業写真コンクール …… 5	木材市況・ふくしま東西南北…………… 12
第72回福島県学校関係緑化コンクール…………… 6	はなしのひろば・お知らせコーナー…………… 13

# 第四回ふくしま植樹祭を開催

ふくしま植樹祭実行委員会

令和三年十一月七日(日)、第四回ふくしま植樹祭を、双葉郡浪江町請戸地内(海岸防災林)において開催しました。

昨年十月に福島県「昭和の森」(猪苗代町)で開催予定でした「第三回

ふくしま植樹祭」は、約一、〇〇〇名の参加者が予定されていましたが、台風十四号の影響により、参加者の安全を第一に考慮し、中止となりました。

今回の大会は参加者を迎え二年ぶりの開催となりましたが、東日本大震災から十年が経過する中で、森林整備活動を続けていくことの必要性を感じながら、ふくしまの美しい緑と心が未来も豊かであり続けるよう願いを込め、「未来へつなぐ希望の森林づくり」をコンセプトに、人と人とのつながりや森林と人との絆を深める森林づくりを行いました。

当日は天候にも恵まれ、早朝から県内各地より約一、〇〇〇名の方の参加をいただきました。

式典は、福島県 内堀雅雄知事、ふくしま植樹祭実行委員会 齋藤卓夫委員長、地元浪江町 吉田数博町長、二〇二一年ミス日本みどりの女神 小林優希さん、二〇一七年ミス日本みどりの女神 野中葵さん(須賀川市出身)の五名が登壇し挨拶な



参加者全員による記念撮影

どをいただき、昨年の第三回開催地であった猪苗代町 前後公町長から今回の開催地である浪江町長へバトンリレーセレモニーの後、参加者全員による記念撮影を行いました。

式典終了後は、参加者全員が海岸防災林の植樹エリアに移動し、約一・三畝の面積に約八、二〇〇本のクロマツ苗木を植樹しました。海岸防災林は、高潮や飛砂、強風から私たちの生活を守ってくれますが、東日本大震災の後に整備している海岸防災林は、さらに津波被害の軽減機能を兼ね備えるために、林帯幅を二〇〇以上に拡げて整備しています。

植樹作業を終了し式典会場に戻られた参加者の皆様には、浪江町から



植樹後の記念撮影

提供された「なみえウオーター」とおにぎりを配布させていただきました。また、交流イベント会場では、薪割り、森林のアロマづくり、木工クラフトなどを楽しんでいただきました。

まだまだ終息の見えないコロナ禍の中で、今大会は参加者を県内一、〇〇〇名に限定し、マスク着用、検温、手指消毒等の励行など参加者の方々にご不便をおかけすることになりましたが、盛大に開催できましたこと、また、関係者の皆様のご協力により無事終了できましたことを深く感謝いたしますとともに、これからも多くの方々に参加していただけた大会を目指してまいります。



植樹活動

第46回

# 福島県林業祭を開催しました!!

福島県林業祭実行委員会

福島県林業祭は、恵み豊かな森林を守り、育て、木材などを生産する「林業」の魅力と重要性を県民の皆様幅広くPRするお祭りとして、昭和五二年から開催しています。

四六回目となる今年は、十月二四日(日)に、林業祭の会場としては初めて、郡山カルチャーパーク第三・第四駐車場において開催しました。

参加を事前申込制とし、イベント内容によって会場内を五つのエリアに分け、来場者の皆様によりわかりやすく林業の魅力を感じていただけるよう、体験型イベントを充実させる等の工夫を行うとともに、飲食は「森のフードコートエリア」内に限定するなど、コロナウイルス感染症対策を徹底しながら運営しました。

平成三〇年度以来、実に三年ぶりの屋外イベント形式での開催となりましたが、天候に恵まれたこともあり、予定を上回る約一、四〇〇名の方々に御来場いただきました。

小柴宏幸福島県林業祭実行委員会



森のフードコートエリア

委員長の開会式あいさつを皮切りに、各プログラムがスタートし、「そまびと体験エリア」では、令和四年四月に本格的に開講する林業研修講座「林業アカデミーふくしま」のPRブースのほか、高性能林業機械の試乗、ドローン、ハーベスタシミュレータの操作体験コーナーを設け、たくさんの方々に「林業」という仕事に触れていただきました。



高性能林業機械体験

今回初めて実施したチェーンソー技術コンペ「そまリンピック」では、県内から六名の腕に覚えのある林業技術者が出場し、簡易伐倒や枝払い競技を通じて、作業の安全性はもちろん、速さや正確性を含め、柚人(そまびと)の技術とその格好良さをアピールしました。

間近で観覧していた子どもたちからは、「そまびとかっこいい!」と声が上がると、林業という仕事の魅力について感じていただけたようでした。

「木の匠エリア」では、木製ドームテントやペレットストーブ、子どもたちが製作した木製ベンチ等の展示をはじめ、木工体験教室や木製品の販売など、木の香るブースが並び



ハーベスタシミュレータ体験



そまリンピック



チェーンソーアート



木の匠エリア（カヌー展示）



森のオークション

ました。「森林の魅力発見エリア」では、狩猟や馬搬といった森林文化に関するもの、森林アロマオイルの蒸留・クラフトなど森林レクリエーションに関する展示のほか、きのこ品評会において県内の生産者から出品された選りすぐりのきのこも販売されました。

午後はメインステージエリアにおいて「チェーンソーアートショー」が行われ、丸太から生み出される熊が「熊出没注意」の看板を割って出てくるという迫力満点で繊細な造形に観客が見入っていました。



きのこまつり

続いて行われた「森のオークション」では、「チェーンソーアートショー」にて製作された作品をはじめ、県内各地より持ち寄られた品々が、次々と元気なかけ声で競り落とされました。

会場内の各エリアに設置された体験型スタンプラリー「森林を遊びつくせ!」は、林業機械の試乗や木工など各種体験を通じてスタンプを集めるもので、チャレンジスタンプ「杣人を探せ!」では、参加者が会場内を巡回している杣人を探し出し、スタンプをもらうミニゲームとなっており、スタンプを集めた方に

は抽選で特製そまびとトートバックや森林環境税オリジナルグッズ、漆塗時計など様々な景品がプレゼントされるとあって、杣人との交流も楽しみな方が多くの方がイベントエリアを回っていました。

今年は、コロナ禍にあつて例年とは異なるスタイルで規模も縮小せざるを得ませんでした。出展者や出演者の皆様など多くの方々の御協力により、無事に林業祭を開催することができ、この場をお借りして関係者の皆様には深く御礼を申し上げます。今後も皆様方とともに工夫を重ねながら、森林・林業・木材産業の魅力を発信するため、林業祭をさらに盛り上げてまいりたいと考えていますので、引き続き御協力をよろしくお願いいたします。





山林苗畑部門県知事賞の苗畑  
(株式会社川上種苗園 代表取締役 川上敦史)

福島県林業コンクールは、林業技術の向上と林業経営の改善を図り、本県林業の発展を推進することを目的として開催しています。  
今年度は、八件の応募があり、林業振興課職員等による現地審査の後、九月十七日に森林・林業関係団体等の代表者からなる審査委員会を開催し、各賞の受賞者を決定しました。

# 令和三年度 福島県林業コンクール

令和三年度

福島県林業振興課

施業経費軽減及び利用販売の努力が多く見受けられる審査結果となりました。

今後とも林業経営者の方々の林業技術向上がより一層図れるよう、引き続き開催してまいります。

## 部門別表彰者

### 一 山林苗畑部門

福島県知事賞

株式会社川上種苗園

代表取締役 川上 敦史

福島県農林種苗農業協同組合代表理事組合長賞

年樹株式会社

代表取締役 星 比呂志

### 二 森林育成(造林)部門

福島県知事賞

福島県知事賞 久下 辰蔵

### 三 森林育成(枝打)部門

福島県知事賞 斎藤 国市

### 四 森林育成(間伐)部門

福島県知事賞 草野 孝己

福島県木材協同組合連合会長賞 鈴木 寛重

福島県森林組合連合会代表理事会長賞 鈴木 寛重

下塩江四九名共有 鈴木 寛重

代表 渡部庄三久

農林中央金庫福島支店長賞 泉 市郎

代表 渡部庄三久

## (最優秀賞、優秀賞及び特別賞の入賞者)

賞の種類	賞名	入賞者		
		市町村	氏名	題名
最優秀賞	福島県知事賞	白河市	黒澤 文	里山の守り人
優秀賞	公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会会長賞	伊達市	田中 剛	パワー&パワー
		会津若松市	佐山 勝信	いつか灰になる運命
特別賞(一般の部)	一般財団法人福島県林業会館理事長賞	福島市	勝山 輝夫	大きく育て
		白河市	鈴木 達也	八重桜咲く作業場
特別賞(高校生以下の部)	公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会会長賞	福島市	鈴木 友梨	真剣な眼差し

ふくしま森林・林業写真コンクールは、森林の大切さとそれを支える林業の重要性を県内外に広く発信することを目的に、毎年度開催しています。  
本年度の応募人数は五七人、応募作品数は一一八点と多数の応募があり、十月十二日、県写真連盟高橋良雄様を審査委員長に、県及び林業団体で構成する審査委員会において厳

第十八回

# ふくしま森林・林業写真コンクール

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

正に審査し、入賞作品を決定しました。  
入賞作品は、十二月六日(月)から十二月十日(金)まで県庁連絡通路に展示し、写真を通して頑張る林業の姿を広くPRします。また、当協会のホームページでもご覧いただけます。  
今後は「林業福島」の表紙に適宜掲載してまいります。

## 第十八回最優秀賞を受賞された黒澤文さんの作品とコメント

私が住む白河市の魅力を発信したくて、白河市の天狗山と、里山の整備をしている、おもてごう里山クラブさんを写した作品を応募しました。大好きな場所と大好きな人たちです。作品を通して、山が人の手で守られていること、また、地域の魅力は私たちの足元にあることが伝われば幸いです。



作品名 (里山の守り人)  
この作品は、本誌令和3年11月号の表紙に掲載しました。

# 福島県学校関係緑化コンクール

福島県森林保全課

当コンクールは、児童・生徒の緑化活動及び学校における環境教育の一層の推進を図るため、福島県及び福島県教育委員会の共催により毎年開催しています。今年は八件（学校林等活動の部二件、学校環境緑化の部六件）の応募があり、県審査委員会による書面審査により、表彰者を決定しました。

このうち、最優秀賞（県知事賞）は次のとおりです。

## 1 学校林等活動の部

### ・会津若松市立湊小学校

「ふるさとを愛し、夢、笑顔、花が咲く学校」との学校像を目標として学校林において児童自ら下



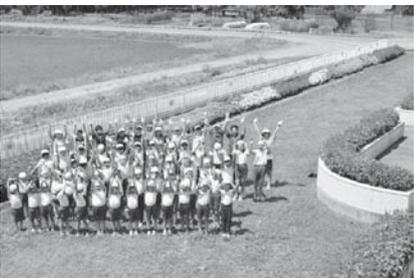
学校林での活動の様子  
(会津若松市立湊小学校)

刈りや除伐作業に取り組みとともに、河川の生き物調査や猪苗代湖の水質調査を学ぶなど、森林の役割や森林環境の大切さを学んでいます。

## 2 学校環境緑化の部

### ・会津若松市立大戸小学校

「花と緑の大戸小」をキャッチフレーズに子どもたちが毎朝の花壇の灌水や花の手入れ、環境学習等で樹木とのふれあう活動を行い、緑の豊かさ、大切さを学ぶとともに、押し花のメッセージカードを公共施設へ配るなど、感謝の気持ちを地域へ還元する取組みを行っています。



学校環境整備の様子  
(会津若松市立大戸小学校)

# 福島県森林組合連合会良質材展示会

福島県森林組合連合会

福島県森林組合連合会良質材展示会は、林野庁、関東森林管理局、福島県、福島県木材協同組合連合会からのご後援をいただき、毎年当センターの記念市と同時に開催しておりますが、十月十八日開催を予定しておりましたが、第二四回福島県森林組合連合会良質材展示会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典を中止し、記念市のみ行いました。

この行事は、生産技術や木材品質の向上、福島県産材の優秀性を広く紹介し、また木材需給の安定に寄与することを目的に開催回数を重ねてまいりました。

今年度の審査結果につきましては、「受賞者名簿」とのとりととなっております。

ご出展いただきましたありがとうございます。ありがとうございました。

これまで良質材展示会の開催を続けてこられましたのも、出荷者、買方者の皆様のご協力並びに関係機関のご指導ご協力があってのことと、この場をお借りし改めて感謝申し上げます。

当センターは、流通施設としてSGEC/COE認証を取得するなど県内森林組合系統の唯一の木材市場として、買方者の皆様に福島県産材を安心してお求めいただけるよう、供給体制の強化に全力で努めてまいりますので、今後も当センターをご利用下さいますようお願いいたします。

## 受賞者名簿

賞名	受賞者名	樹種	長級(m)	径級(cm)
林野庁長官賞	緑川 平隆	ヒノキ	6.00	通し柱
福島県知事賞	株式会社サンライフ 代表取締役 水野 喜文	スギ	3.00	18-20
関東森林管理局長賞	いわき市森林組合 代表理事組合長 田子 英司	スギ	3.00	18-20
福島県木材協同組合連合会長賞	矢吹農林 矢吹 光	スギ	4.00	28-36
福島県木材協同組合連合会長賞	蛭田 勝夫	スギ	4.00	46-50
福島県森林組合連合会長賞	ふくしま中央森林組合	スギ	4.00	40-44
福島県森林組合連合会長賞	水野 悦男	スギ	3.00	18-20
福島県森林組合連合会長賞	常磐林業株式会社	スギ	3.65	40-48



林野庁長官賞のヒノキ通し柱  
(いわき市 緑川平隆)

# 福島県優良建設工事表彰について

福島県農林技術課

令和3年度福島県優良建設工事は、令和2年度に完成した工事を対象とし、農林水産部関係で6部門7件、土木部門で14部門21件の受賞が決まりました。

ここでは、森林林業関係の受賞工事3件について紹介します。



## 治山部門

- 施工業者 株式会社 日仙産業（白河市）
- 事業名 水源森林再生対策0201工事 西郷地区
- 施工場所 西白河郡西郷村大字鶴生 地内
- 工事概要 谷止工 N=0.5基、請負額 39,374,500円
- 寸評 本工事は、不安定土砂が堆積する溪流内の保全対策として実施した谷止工であり、標高が高く冬季には寒冷な環境となるなど、厳しい現場条件下での工事であった。

施工に当たっては、間伐材型枠用鋼材をリフト単位で工場製作することにより現場作業の軽減を図り、施工性の向上や型枠設置の精度向上につなげたほか、コンクリート打設時においては、回し打ちと練炭養生による適切な温度管理により品質向上に努めた。

また、間伐材型枠工において、天端に設置した枠止用隠しネジの上部に木栓を施工して天端角材の見栄えを向上させたほか、堤銘板の周囲の面取りなど、きめ細かな配慮により施工した結果、全体的な美観にも優れた仕上がりとなり、高く評価できる。



## 治山部門

- 施工業者 株式会社 館岩工務所（南会津町）
- 事業名 復旧治山0101工事 細窪地区
- 施工場所 南会津郡南会津町塩ノ原字細窪 地内
- 工事概要 流路工 L=154.0m 請負額 68,494,800円
- 寸評 本工事は、国道上部に位置する荒廃した溪流に連続する8基の床固工と護岸工を施工する流路工であり、狭隘な現場条件のほか、施工箇所における支障木や巨石の処理を所有者と調整しながら進める必要があるなど、難度の高い工事であった。

施工に当たっては、コンクリート打設の際に、護岸、底張及び床固工毎に打設計画を立て生コン車の手配等の調整を行うとともに、圧縮強度等の適正な管理のため、コンクリート打設箇所毎に運搬時間、温度管理を徹底し、所要時間内に作業を完了させることにより、品質の向上に努めた。

また、曲線部に係るIP間管理を徹底し、型枠部材の割付を細やかに先行施工した結果、曲線部も滑らかな仕上がりとなっており、美観的にも非常に優れた流路を形成したことは、高く評価できる。



## 林道部門

- 施工業者 株式会社 高橋建設（喜多方市）
- 事業名 山のみち地域づくり交付金0105工事 北塩原・磐梯(喜多方)線
- 施工場所 喜多方市熊倉町雄国 地内
- 工事概要 舗装工 L=560.0m 請負額 32,974,700円
- 寸評 本工事は、舗装を主とする林道工事であり、希少猛禽類への配慮を図るため、騒音や工事期間など、施工が制約される現場であるだけでなく、縦断勾配が9.3%となる急勾配区間が続く、厳しい現場条件、施工条件であった。

施工に当たっては、急勾配でカーブとなる区間については、減速マークや車線分離標の設置を提案し、現場の状況を的確に把握しながら良好な現場施工に努めた。

また、希少猛禽類に配慮し重機のならし運転等のコンディショニングを行ったことに加え、舗装に当たっては超低騒音型等の重機を使用するなど、環境対策への配慮が高く評価できる。

# 県南地域における航空レーザ計測データ活用について

福島県県南農林事務所

林業普及指導員 小野 武彦

## 〇はじめに

県南地域は、豊かな森林資源を背景に素材や木炭の生産が活発に行われ、県内有数の林業地帯となっています。これら広大かつ急峻な森林を対象とした林業においては、ICT技術等の先端技術を活用し生産性を向上させることが必要となっており、航空レーザ計測による森林資源情報精度の高度化と共有化が求められています。

当管内においては、森林情報活用路網整備推進事業等により5市町村において航空レーザ計測が実施されていることから、森林経営や森林整備に役立てるため、取得したデータの活用を進めていますので、その取組を紹介します。

## 〇取組内容

### (1) 埴町の取組

埴町の民有林面積は8,445haと総面積の40%を占め、うち56%がスギを主体とした人工林です。町では、これら豊かな森林資源を適正に管理するため、平成27年度に航空レーザ測量を実施しており、取得した森林情報や微地形表現図などの情報をふくしま森林再生事業の年度別計画作成に活用して、現地調査の省力化や作業の効率化を図っています。

また、令和2年度には、町内の林業事業体に微地形表現図や森林作業道の計画に係るデータを提供し、現場においてタブレットを使い、GPS機能で現在位置を確認しながら、森林作業道の開設位置を把握する取組を行っており、今後もこれらデータを積極的に活用しながら、効率的な森林整備を実施することとしています。

### (2) 県行造林の取組

当管内の県営林は、多くが契約期間満了を迎えつつあり、速やかな境界確認や売払い等が課題となっています。そこで、市町村や県が保有している航空レーザ計測データを活用し、現地調査の省力化を目的に、次のことに取り組みました。

- ・微地形表現図等の航空レーザ計測データと既存の県営林実測図・法務局地図データ等を重ね合わせ、ハンディGPSに表示することで現地調査を効率化・確実化
- ・航空レーザ計測データの単木情報と標準地調査による形質情報等を組み合わせ、林分材積や利用材積を推計

その結果、複数の県営林において、杭等の位置情報を取得し境界データを残すことができました。また、直近の契約満了箇所のほか、5年後の契約満了箇所にも目を配り、売払いの可否等について検討を行うことができました。

今後も、県営林業務の円滑な執行の後押しとなるよう、さらに取り組みを進めていきます。

### (3) 研修会の開催

航空レーザ計測データについて林業への更なる活用を図るため、令和3年7月12日に、市町村職員等を対象に「航空レーザ計測データ活用研修会」を開催しました。

今回は、アジア航測株式会社の専門家を講師に、航空測量データの内容と利用方法及び活用事例について学びました。参加者からは、「今後の森林経営管理制度の運用に活用できる。」「具体的な活用事例や微地形表現図の利用方法が参考となった。」との意見が寄せられ、有意義な研修会となりました。



県行造林地での活用

### 微地形表現図の例



研修会での説明（活用例紹介）

## 〇おわりに

当管内の森林整備実績は、震災後落ち込んだものの、徐々に増加し、令和2年度は730haと震災前の約80%まで回復してきたところです。

一方、担い手不足の問題もあり、森林経営や森林整備を進めるためには、作業の効率化や省力化が欠かせません。このため、これからも市町村や林業事業体等と情報を共有し、協力しながら、航空レーザ計測データの活用に取り組んでいきたいと考えています。

# 緑の百景歩こう会を開催しました

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

ふくしま緑の百景歩こう会は、昭和六〇年の国際森林年を記念し、ふるさとの森や樹木の大切さを見直し、その美しさを守り育てることを目的に選定された緑の百景（県内一〇〇の景色）をウォーキングコースとして、地元市町村、福島民報社、当協会の共催により平成元年から毎年、開催しております。

第三三回目となる今大会は避難指示が解除となった区域内では県内で初めてとなり、十月三十一日（日）に富岡町総合スポーツセンターを発着点とし、曇り空の中、多くの方々にご参加いただきました。参加者の皆様は、豊かな自然や歴史文化の街並み、及び東日本大震災から復旧した「富岡漁港」や東日本大震災・原子力発電所の事故を紹介している「とみおか・アーカイブミュージアム」などを巡る約一〇キロのコースを楽しみました。

ゴール後は完歩した参加者全員に、地元産タマネギを活用したせんべいや米粉ドーナツ、緑化用苗木（コブシ、コムラサキシキブ、ナツツバキ）

などがプレゼントされました。

今回の歩こう会は、昨年と同様に参加者数や参加地域を県内に限定し、検温、問診、手指消毒、マスク着用など、新型コロナウイルス対策を徹底し開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響下でも参加者の皆様のご協力のもと、継続して無事に開催できたことに、心より感謝申し上げます。今後とも皆様のご参加をお待ち申し上げます。



スタート

富岡漁港

第2チェックポイント

苗木の配布

# 福島高度集成材製造センターの竣工

福島県林業振興課

去る令和三年十月十八日（月）に、浪江町に整備された福島高度集成材製造センター（FLAM）の機械設備に係る完工式が執り行われました。

当該施設は、原発事故により失われた地域産業の復活と安定した雇用の場を創出するため、浪江町が集成材工場を整備し、公設民営方式により（株）ウッドコアを中核とするコンソーシアムが管理運営を行うものです。工場のフル稼働時には、年間約五一、〇〇〇立方メートルの県産材原木を消費し、大断面集成材を中心に年間約一五、〇〇〇立方メートルの製品を生産する計画です。浜通り地域を中心に全県から原木の集荷を計画していることから、東日本大震災の被災地域を始め、福島県全体の森林再生の促進や林業・木材産業の活性化に大きな役割を果たす施設として期待されています。

また、当該施設の稼働により、県内はもとより首都圏などにおける高層建築や大規模建築等の新たな木材

利用のニーズに対応した集成材を全国有数の規模で製造が可能となることから、都市の木造化を通じた脱炭素社会やカーボンニュートラルの実現にも大きく貢献するものと考えています。

浪江町及び（株）ウッドコアでは今年度内の本格稼働を目指しており、近い将来、浪江町で生産された優れた製品や製造技術が、全国、さらには海外へと広く発信され、福島県の林業・木材産業の復興の証しとして地域の発展に貢献し続けることができよう、県としても見守ってまいります。



テープカット風景



福島高度集成材製造センター全景

※写真提供：浪江町

団体のページ

森連だより

「第29回JForest  
全国森林組合大会開催」



令和三年十月二十八日、東京都内のメルパルク東京において、全国森林組合連合会（以下、全森連）主催のJForest全国森林組合大会が開催されました。

昨年は、新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、今年度の開催は初めての試みとなるオンラインでの参加も可能となりました。

大会当日は、宮崎雅夫農林水産大臣政務官、天羽隆林野庁長官のご臨席を賜り、中崎和久全森連会長のあいさつでは、「SDGs 未来に森林を繋ぐ責務、組合員に信頼される組合づくりが重要であり、また異常気象による甚大な災害の発生に備えるため、国土強靱化の推進に取り組む、担い手対策では、人材の確保・定着のための予算の拡充が必要である。」と述べられました。

つづいて行われた表彰では、「百年の森輝く 人づくり・森づくり」を理念に掲げ、「おかえりモネ」の舞台にもなりました登米町森林組合が農林水産大臣表彰を受賞したほか、林野庁長官表彰（受賞者五名）、組織・系統の発展や長年の功績のあった方々に対し、全森連会長表彰（受賞者四三八名）が贈られました。本県では左記の方々が受賞されました。

全森連会長表彰  
優良組合表彰

南会津森林組合  
功労者表彰（役員）  
会津若松地方森組 武田 春男

功労者表彰（職員）  
ふくしま中央森組 渡辺 常吉

西会津町森組 木村 芳主  
功労者表彰（現場技能者等）

西白河地方森組 小野 吉秋  
西会津町森組 岩淵 勝広

西会津町森組 須藤 忠安  
受賞者の皆さまの長年に亘るご尽力と数々のご功績に対しまして、

甚なる敬意を表します。

今大会の議事では、本年三月に全国森連会長会議で基本方針を決定し、九月の理事会で承認を受け、十月から暫定的に実行されている「新森林組合系統運動方針」について、



中崎全森連会長あいさつ

発信することが重要であること。もう一つは「森林整備の財源確保」において、素材生産の中心は間伐であり、人工林の高齢化が問題である。長い期間を要する森林の整備には安定的な財源としての予算や人材の確保のため、緑の雇用事業予算の確保が必要であることなどが発言者より述べられました。

結びには、大会決議が読み上げられ、拍手により満場一致の賛同を受け、大会が終了いたしました。

大会決議は、以下のとおりです。

1. 主伐後の再造林の確実な実施を通じた森林資源の循環利用の推進と林業経営確立のための取組強化、国土保全等森林の公益的機能の発揮に必要な森林整備予算の大幅な拡充

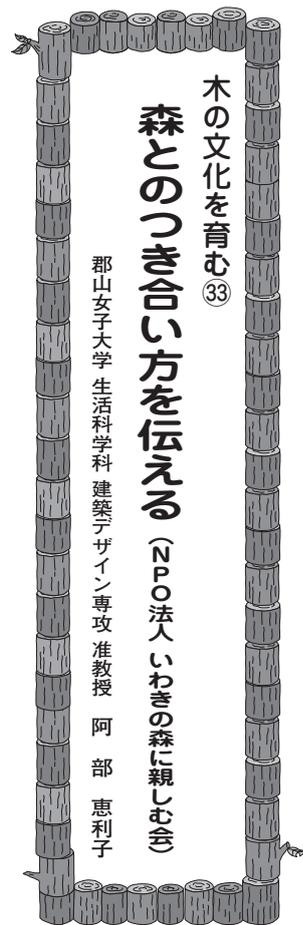
2. 技能検定制度創設等労働対策推進や就業環境改善とともに「緑の雇用」事業、森林施業プランナー育成対策事業等による人材の確保・育成

3. 国産材の新たな需要を創出するとともに都市の木造化や輸出推進等による木材需要の拡大

木の文化を育む<sup>33</sup>

森とのつき合い方を伝える(NPO法人いわきの森に親しむ会)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子



○はじめに

いわき市は夏と冬の寒暖差が少なく、安定した過ごしやすい気候に恵まれています。東に太平洋、西に阿武隈山系の山並みを望むことができ、春には桜、夏にはキャンプ、秋

す。現在、正会員一七名、家族会員十六名、団体会員七名、計一四〇名が会員となり、森林整備班、農業班、木工班、プログラム班、観察班をつくり定期的に活動しています。

○市民の森づくり

NPO法人いわきの森に親しむ会では、三つの里山を活動のフィールドとしています。

自然豊かな風土は、老若男女が集う自然体験活動や環境教育の学習の場として活かされています。

○森との共生

里山を市民の手によって再生し、市民が安全に、気軽に楽しく里山を利用できる仕組みを作りたいという想いから、市民の有志が集まり、二〇〇一年、いわきの森に親しむ会が設立されました。二〇〇四年にはNPO法人の認証を受け、市民の森づくりや森との付き合い方について調査研究、啓蒙に関する事業を行い、森に親しみながら持続可能な地域づくりを目指して活動していま

湯の岳エリア(約一五〇)は、総合的な自然体験活動の拠点として、21世紀の森エリア(約五〇)は、自然観察を行いながら環境学習ができるフィールドとして、岩出エリア(約九〇)は昔の田んぼや畑、溜池、神社、雑木林が残る里山体験ができるフィールドとなっています。これらの広大な敷地の維持管理をしながら、里山における観察コースや安全に自然体験活動ができるフィールドづくりをするとともに、里山の景観維持のための田んぼや畑の復旧に努め、放置されている人工林の間伐材等の整備や海岸林の再生整備も行っ

ています。森林整備で出た木材は、作業機械取扱研修会支援やドラム缶窯による炭焼き体験で活用しています。

○森とのつき合い方の勉強会

里山を中心とした自然体験活動プログラムや環境教育の学習プログラムは、子どもたちの総合学習や国際ワークキャンプの支援に活かされています。子どもたちは大自然をフィールドに木工クラフトや抜け殻によるセミの同定演習のほか、紙製円筒風車、木の葉模様の葉製作など自然を満喫しながら活動しています。

○子どもの冒険ひろば

天気が良い日、子どもたちの冒険ひろばは子どもたちで賑わいます。ひろばには、風力発電設備や水力発電設備、太陽光発電設備、太陽熱温水器などの自然エネルギー設備が設置されており、自然の摂理とエネルギーについて子どもでもわかるように解説しています。

会員は、こうした自然体験活動や環境教育学習の指導者養成のためのプログラム開発にも専門講師の指導を受けながら取り組んでいます。また、山道を歩きながら観察会を実施し、山道の観察ルートを開拓するなど楽しみながら日々スキルアップを図っています。

○湯の岳自然学校トライアル

来年度から始まる(仮称)湯の岳自然学校に先立ち、今年度八月から湯の岳自然学校トライアルとして、自然学校の試験的活動がスタートしました。動植物の生育基盤である土壌に注目したアクティビティを用意し、参加した児童の興味関心を大事にしながら虫を見つけて捕まえたリ、ウスバカゲロウの幼虫の巣で実験をしたりしました。参加者には大変好評で、次年度以降の新たな取組みが着実に進められています。

○まとめ

森とのつき合い方を知ること、多くの人々が四季折々の美しい自然の恵みに気づき、魅了されています。貴方もぜひ、森とのつき合い方を勉強してみませんか。



NPO法人いわきの森に親しむ会 自然観察班の活動

# 木材市況

八月の原木市場への入荷量は、前月比七割減（前年比五三割増）の二〇、六五九立方メートルとなつてゐる。  
 販売量は、前月比七割減（前年比六〇割増）の二〇、六五三立方メートルとなつてゐる。  
 九月の価格は強保合いとなつてゐる。

## 素材の価格〈工場着価格〉（2021年9月15日現在）

（単位：㎡当り千円）

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		10 (10~10)	0	9 (8~10)	0	
		10~14	4.00	並	スギ	15 (15~16)	0	(0~0)		15 (13~16)	1	15 (13~16)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	17 (14~18)	0	14 (14~14)	0	18 (15~21)	0	17 (14~21)	0
			並	ヒノキ	21 (18~24)	1	(0~0)		25 (23~26)	1	23 (18~26)	1	
		6.00	並	スギ	19 (15~22)	0	10 (10~10)		22 (21~23)	0	19 (10~23)	△1	
			並	ヒノキ	28 (28~29)	0	(0~0)		30 (30~30)	0	29 (28~30)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	15 (14~15)	0	11 (10~12)	0	15 (13~16)	0	14 (10~16)	0	
		4.00	並	スギ	14 (14~15)	△1	11 (10~12)	0	15 (14~17)	0	14 (10~17)	0	
			並	アカマツ	9 (7~11)	0	(0~0)		11 (9~12)	0	10 (7~12)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		35 (35~35)	0	35 (35~35)	0
並				米マツ	(0~0)		36 (36~36)	0	35 (35~35)	0	36 (35~36)	0	
28以下		3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		33 (33~33)	0	33 (33~33)	0	
			並	アカマツ	(0~0)		(0~0)		33 (33~33)	0	33 (33~33)	0	
パルプ用材			並	マツ	7 (7~7)	0	(0~0)		7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	
			並	広葉樹	10 (10~10)	0	(0~0)		(0~0)		10 (10~10)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	0 (0~0)	0	7 (6~8)	0
	13~14		並	カラマツ	0 (0~0)	0	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	0 (0~0)	0	10 (8~11)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。  
 2. ( ) 内は各地域の価格幅、( ) 外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

伐採現場を提供いただいた株式会社アメリカ屋の鈴木専務からは、伐採から積み込みまでの具体的な作業の流れについて、高性能林業機械の稼働と併せてわかりやすく説明いただきました。加えて、作業をする上でどんなことに気をつけているか、どういうことを考えながら業務に当たっているか（安全管理、作業効率、経営的視点、地域貢献）など、林業だけでなく全ての仕事に共通する考



### 未来の杣人

県中農林事務所森林林業部林業課 掃部康宏

県中農林事務所では、若者の林業分野への就業促進を目的として、毎年「高校生林業見学会」を実施しています。ここ二年間は、新型コロナウイルス感染症や台風一九号の影響で開催できませんでした。令和三年十月二十五日(月)に三年ぶりとなる見学会を開催することができました。当日は福島県立岩瀬農業高等学校環境工学科の一年生三六名に参加いただき、午前中は高性能林業機械を活用した素材生産現場を、午後は高性能機械を活用したチップの生産工場を見学していただきました。

え方についてもお話しいただいたので、生徒さんたちはキャリアを考える上で大変参考になったようです。後日、先生に伺ったところでは、林業就業に興味を持つ生徒さんも複数名いたとのことですので、二年後がとも楽しみみです。

今回の見学会は、株式会社アメリカ屋様の全面協力により実施することができました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。

(写真の説明：木材運搬車への丸太積込を見学)



はなしの  
ひろば

影  
絵

知人から、干し柿にしたらと蜂屋という柿を一〇〇個近く頂いた。毎日、夜な夜な十個〜十五個の皮を剥いては、軒下に干し続けた。時に面倒な作業と思いつつも、蜂屋の堂々とした大きさと色合いに惹かれ、全て剥き終わる頃には、自然の恵みに「ありがたう」という気持ちになっていた。そして、干し終えた次の日の朝、今までにないくらいガラスの光景に、しばし目を奪われた。柿の隙間から入り込む冬の朝日は温かく、ひとつひとつの柿がシルエットになって、窓ガラスに映りこんでいるではないか。まるで一枚の影絵のような。こんな身近に、こんな心惹かれる冬の光景があつたのかと感動する。

干し柿は、冬の寒風を受け、甘味が増す。日毎、楽しみが増していった矢先のこと、よく見るとひとつ、ふたつ、欠けているではないか。ヘタから先がきれいに無くなっていく。野鳥が食べたに違いない。(よくもこんなにきれいに食べたものだ。) 始めての干し柿作りで少し残念ではあつたが、年の暮れにきて、なんだかとてもいいことをしたような気になった。

新しい出会いや別れもあつただろうそれぞれの令和三年が、あとわずかで過ぎようとしている。そして、また、みんなに新しい年がやって来る。

元旦は、気持ちを一から新たにしてくるなんともいい「ハレの日」だ。一年に感謝をして、心穏やかに過ごす年の瀬は、必ずいい「ハレの日」にならざるう。それぞれに心穏やかな年の瀬でありますように。(都)

表紙の写真



「パワー＆パワー」

第18回ふくしま森林・林業写真コンクール  
優秀賞(県森林・林業・緑化協会会長賞)  
受賞者 田中 剛さん(伊達市)  
撮影場所: 半田山自然公園  
コメント: 迫力がスゴかった。

編集

発行人

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業協同組合  
ふくしま緑の森づくり公社  
森林研究整備機構福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)  
飯沼 隆  
陽光社印刷株式会社  
(定価 一〇〇円)

お知らせコーナー

第54回花いっぱいコンクール受賞者決定

花を愛する心と豊かな情操をはぐくみ「郷土を花と緑で飾ろう」の趣旨のもと、健康で明るい「福島県花いっぱい県民運動」の一環として実施された「第54回花いっぱいコンクール」の受賞者が決定され、令和3年11月25日(木)、福島民友新聞株式会社において表彰式が行われました。

今回は、昨年から続くコロナ禍の影響や近年の異常気象の影響がある中でも、昨年より7団体多い39団体から応募いただきました。こうした状況下においても、変わらず花の育成活動に取り組まれている皆様に心より感謝申し上げます。

なお、受賞された団体は、次のとおりです。

受賞者団体

福島県知事賞	桑折町立醸芳小学校
福島県教育委員会教育長賞	青柳地区花いっぱい運動
福島県森林・林業・緑化協会会長賞	白河市立白河中央中学校
福島民友新聞社長賞	喜多方市立上三宮小学校
農林中央金庫福島支店長賞	郡山市桑野小学校
奨励賞	南相馬市立原町第二小学校 福島製鋼株式会社 磐梯町立磐梯第一小学校 棚倉町老人クラブ連合会 玉川村立玉川第一小学校 福島県立平工業高等学校 緑化委員会 喜多方市松山公民館 花の楽校 認定こども園三春幼保園 郡山市立郡山第二中学校



県知事賞表彰



表彰式の様子

# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



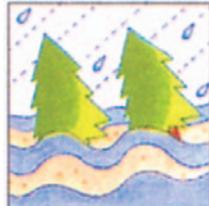
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



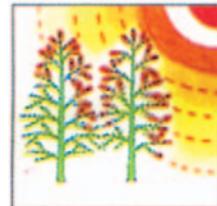
## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



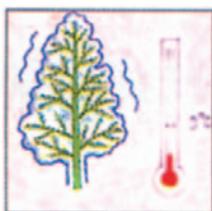
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ  
グラップルプロセッサ

# GP-35B

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



### 傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッタ解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8 コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest

**イワフジ工業株式会社**

<http://www.iwafuji.co.jp/>



( 南東北支店 ) 福島県郡山市八山田 5-314

TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

( 本社・工場 ) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1

( 支 店 ) 札幌・東北・南東北・関東・中部・関西・中四国・九州

レインボー薬品の薬剤と資材

# 緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

## 松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤  
スミパインMC  
マツグリーン液剤2  
グリーンガード・NEO

## くん蒸剤

ヤシマNCS

## くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シートハイバリア

## ハチ退治

ハチノックL (巢処理用スプレー)  
ハチノックS (携帯用スプレー)

## 新商品

猪レスSTOPテープ

ヒルノックWスプレー

ヒルノックW



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野1-19-10 お問い合わせ TEL. 03(6740)7777 平日 9:00~17:00 (土日・祝日は休み)



## 人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC  
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ  
排気量 39.1cc

GZ4350EZ  
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

# (有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1